

AsiaNet 48725

☆共JBN 外0399 (産業、水資源) (12・3・22)

【産業担当デスク殿】48725

◎国際水管理研究所に栄冠
12年ストックホルム水大賞

【ストックホルム22日PRN=共同JBN】スリランカのコロンボに本部を置く国際水管理研究所 (International Water Management Institute=IWMI) が2012年ストックホルム水大賞 (Stockholm Water Prize) の受賞者に決まった。農業用水の管理改善、食料安全保障の増進、環境衛生の保護、発展途上国の貧困軽減に努めた先駆的研究が認められた。

ニュースリリースの詳細、翻訳、背景説明、写真・映像素材は以下のウェブサイトを参照。

<http://www.siwi.org/SWP2012>

地球の取水の70%は農業に使われている。世界の食糧需要は今世紀半ばまでに倍増すると予測されており、より多くの食料をより少ない水で栽培する必要がある。IWMIは農民の「水1滴あたり収量増大 (more crop per drop)」を支援、農業に限られた水資源で増え続ける世界人口を養う食料を賄えるような解決法を実現する原動力になってきた。

ストックホルム水大賞の指名委員会は声明で「国際水管理研究所は農業用水管理で最高の組織である。その働きはより生産的な水利用を可能にしたばかりでなく、世界の食料安全保障、経済発展、環境衛生を向上させる農業の新政策、投資につながった」と述べている。

1984年に創設されたIWMIは、途上国の貧困層のために持続的な農業の土地・水資源利用を主要テーマとする非営利の科学研究組織である。過去4半世紀、地球の土地・水資源の広範な知識をもたらす最も確実なソースとして確固たる地位を築いてきた。スリランカのコロンボに本部、アジア、アフリカ各地に地域事務所がある。IWMIは国際農業研究協議グループ (CGIAR) の研究センターである。

受賞のニュースを聞いたIWMI所長のコリン・チャーターズ博士は「われわれの組織にとって信じられない栄誉だ。真の受賞者はもちろん、4半世紀以上にわたり一貫して最高の研究を生み出してきたIWMIの専任職員だ。この働きは世界中の水管理政策に重大な影響を及ぼし、地球上の最貧層の一部に実際の利益を与えてきた」と話した。

後援者のスウェーデンのカール16世グスタフ国王陛下が2012年世界水週間最中の8月30日、ストックホルムの王室主催授賞式で賞を授与する。ストックホルム水大賞はストックホルム国際水協会 (Stockholm International Water Institute=SIWI) によって年1度与えられる世界的な賞で、受賞者には15万米ドルの賞金とスウェーデンのガラス工房オレフォスが特別にデザインしたクリスタル彫刻が授与される。

▽メディア問い合わせ先

Britt-Louise Andersson, SIWI

+46-8-522-139-72

britt-louise.andersson@siwi.org

Joanna Kane-Potaka, IWMI

+94-773-715075

j.kane-potaka@cgiar.org

(了)